

●本荘港（飛砂・漂砂対策）

【経緯】

本荘港は、昭和5年、内務省告示により指定港湾に採択され、昭和28年には港湾法により地方港湾に指定され、本格的な整備が進められてきました。

本荘港は一級河川子吉川の河口港であるため、流下土砂と季節風による漂砂で河口閉塞を招き、

また、鉄道の開通により海運の多くが鉄道輸送にかわり、本荘港の取り扱い貨物輸送は激減し、平成18年の出入貨物は、わずか21トンにとどまっています。



本荘港の全景

【活動状況・成果】

第4次秋田県総合発展計画では海洋性レクリエーション基地として位置づけられました。

本荘港は、海洋性レクリエーション基地として利用されており、本荘マリーナ、マリーナ海浜公園、海水浴場等は多くの利用者で賑わいを見せています。また、平成12年にはシーサイド・オートビレッジ事業として整備されたオートキャンプ場の供用が開始され、平成18年には「みなとオアシスほんじょう」として認定を受け、鳥海山観光と連携する重要な観光拠点として、本荘港のさらなる利用の拡大が見込まれています。



みなとオアシスほんじょう



みなとオアシスの分布

東北地方整備局港湾空港部 HP <http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kakyoin/>

(港湾・空港ガイド/秋田県 より)

由利本荘市 HP <http://www.city.yurihonjo.akita.jp/www/toppage/000000000000/APM03000.html>

(平成24年第3回由利本荘市議会定例会(9月)会議録 より)

(みなとオアシスほんじょう紹介ページ より)

国土交通省 HP <http://www.mlit.go.jp/>

(国土交通白書(H25年度) より)